



広田診療所と薬の配達 伊勢純議員

2名の常勤医候補、内諾と交渉 薬の配達をコミ協に打診中

広田診療所の常勤医師確保について、伊勢議員が質問しました。

菅野民生部長は、「本市出身の医師で2年後を目途に広田診療所勤務の内諾を得ている。さらに県内勤務希望の医師と就任の期待をもって勤務日や住居等の交渉中」と回答。

また伊勢議員は、広田町内から薬を受け取るため、小友・米崎・高田町まで行く高齢者などの苦勞解消のため、薬の配達に向けた市の検討について質問。

民生部長は、気仙薬剤師会との協議で、原則的に薬の配達は認められていないが、代理受取りは可能と見解を受け、現在は広田コミュニティ推進協議会に配達を打診と回答。



来年度から第7期介護保険事業計画 大坪涼子議員

介護保険料は上昇を極力おさえる

介護保険料は、年金が上がらない中で高齢者には重い負担だと強く指摘し、来年度からの標準保険料は、どのようになるのかと大坪議員が質問。

菅野民生部長は、「保険料の上昇を極力抑制したい」と答えました。

また、大坪議員は、入所待機者の解消が大きな課題とし、在宅待機者について質問。

民生部長は、要介護3以上の入所申込者30名に対し、在宅待機者が29名で、市では入所待機者への支援策を整備する考えを示しました。

介護人材確保へ修学資金。高田高校との連携も。

次に大坪議員は、来年度は国が介護報酬を変更するために、介護事業者は介護職員確保などがさらに苦しくなると思うとし、現状や今後について質問。

民生部長は、「訪問介護と通所介護の各1ヵ所とグループホーム2ヵ所が休止。介護職の人材確保が課題。今年度は人材確保パンフレットの作成、来年度に向けて修学資金の創設や高田高校との連携で説明会を行う」と答えました。



国道343号と新笹ノ田トンネル整備 藤倉泰治議員

トンネル整備は極めて重要 全国・世界からの人々、ILCでは輸送路に

藤倉議員は、本市で国営の追悼・祈念公園や新たな道の駅の整備が進み、ILC誘致とも関連することから、国道343号と新笹ノ田トンネルの重要性を質問。

戸羽市長は、「新笹ノ田トンネルの整備は極めて重要」と答えました。

藤倉議員は、ILC誘致実現の際には国道343号が大船渡港と結ぶ輸送路になると指摘し、早期整備に向けた働きかけについて質問しました。

戸羽市長は、「当市をはじめとする5市町などで強く要望している。県の回答は、新笹ノ田トンネルの整備には多大な事業費を要し、早期の事業化は難しいが、同時にILC実現に向けた所要の検討が必要との回答。今後も粘り強く要望を行う」と答えました。

災害公営住宅、入居4年目からの割増家賃問題 伊勢純議員

伊勢議員 なんとでも割増家賃をおさえるべき 菅野課長 基準所得と近傍家賃の変更で軽減可能

伊勢議員は、災害公営住宅入居者から不安の声が上がっていた割増家賃の負担軽減を求めました。県営住宅では月額37,700円から割増で95,400円になる例もあります。

「割増家賃」は、月額所得158,000円の世帯では入居4年目から値上がりし、「近傍同種家賃」と同額になるという国の仕組みです。人手不足などで建設費用が多額だった団地は、近傍同種家賃として高く設定されます。

市では、12月11日の県と市町村の会議で負担軽減を提案

菅野建設課長は、月額所得の基準額を現在の158,000円から259,000円にゆるめること、そして近傍家賃を県内で最も安い災害公営住宅の家賃にという2点にふれ、割増負担を軽減できる可能性を示しました。さらに、12月11日の県と市町村の会議で負担軽減をめざす市の考えを訴えることを明らかにしました。

一般的な年金生活世帯の家賃は、急激な値上がり無し

なお、伊勢議員は、年金生活世帯の人たちの家賃についても質問し、月額所得8万円未満の世帯は、市や県の減免制度を活用し、急激な家賃の上昇がないことを確認しました。

	月額所得（世帯）	国の計算方法による近傍家賃
現在	158,000円以上で割増	市内の例 3DK家賃 154,000円
	↓基準をゆるめる	↓高額な家賃設定を下げる
今後の可能性	259,000円以上で割増	県内最初の災害住宅家賃例 3DK家賃 77,000円

12/7 復興特別委で示された家賃例

小学生まで窓口負担なしを

昨年8月から未就学児まで医療費助成は窓口負担なしになっています。大坪涼子議員は来年度から小学生までの拡大を求めました。戸羽市長は、「県に対して小学生までの現物給付拡大を回答している」と答えました。今後、各市町村の意向をうけて岩手県としての判断が注目されます。（大坪議員の一般質問より）

日本共産党
陸前たかた民報

福祉灯油ことしも

今年も補正予算に604万円の福祉灯油が計上。非課税世帯など1200世帯を対象に商品券での支給です。昨年は875世帯の利用でしたが、約300世帯が申込んでいません。伊勢純議員は対象者へのお知らせを求め、今年から前年の対象者に郵送で案内が届くことになりました。（伊勢議員の予算委員会質疑）

大相撲巡業に 補助200万円

大相撲復興陸前高田場所が地元実行委員会により8月に50数年ぶりに開催予定。総合交流センター（体育館等）で3千人の入場を見込み総事業費3千8百万円、市では200万円を補助します。（藤倉議員の予算委員会質疑）

リンゴ産地化 800万円増額

被災エリア活用の果樹産地化、新規就農者移住などのため、今年度の新規事業2千万円を予算化。今回800万円増額し支援事業をさらに広げます。（大坪議員の予算委員会質疑）